議会だより たまかわ

No.185
令和８年
11月２日

９月定例会



「選ばれるむらへ」
～広がる移住・定住の輪～

縁もゆかりもなかった玉川村を、新たな暮らしの地に。
ご家族三人の笑顔から、移住・定住の輪が広がります。

詳細は18ページに掲載

主な内容

９月定例会 …… 2～9
村政ここがききたい …… 10～17
一般質問のその後 …… 20
インタビュー輝く人 …… 22

財政調整基金が6億を割り込む

9月定例会

実質公債費比率は横ばいも、将来負担比率が14.4ポイント増える

9月定例会のあらまし

玉川村議会9月定例会は、9月4日から11日までの8日間の会期で開催されました。

村長提出議案20件のうち、令和7年度一般会計及び各特別会計歳入歳出の決算認定等について、決算審査特別委員会を設置し、2日間にかけ審査を行いました。（詳細については6~7ページをご覧ください。）最終日の本会議において、いずれも認定及び可決されました。

一般質問には7名の議員それぞれが登壇し、村執行部の考えを質しました。

令和７年度主な事業

◇村制施行70周年記念事業　◇予防接種事業
◇災害復旧工事　◇学校等整備事業（小学校統合基本構想）
◇文化体育館防災強化改修事業　◇地方創生事業

実質収支は黒字

一般会計の歳入は51億2,595万円に対し、歳出は48億443万円となった。歳入歳出差引額は３億2,152万円となり、翌年度へ繰り越す財源3,014万円を差し引いた実質収支額は２億9,137万円となった。一方で財政運営においては、経常収支比率が98.2％と令和６年度と比較しても1.6ポイントの悪化に加え、４年連続で90％を超えていることからも、財政の硬直化がうかがえる。

地方交付税は増額

村の最大の財源となる地方交付税は令和６年度の18億7,142万円から19億7,954万円と増額となっており、依存財源は67.6％と0.3ポイント上昇している。

財政調整基金5.7億円

令和４年度に最高値の9億５千万円を記録した財政調整基金は、これをピークに取り崩しが続き、７年度末残高で６億円を割り込んで５億7,423万円となった。このままの財政運営が続くことは警戒が必要な状態とも言える。

今後の財政運営

令和７年度は村制施行70周年を迎え、記念式典などの成功、また新たな体制で滞納対策への取り組みの強化など成果があった。一方で硬直化する財政運営を速やかに適正化していくことが望まれる。

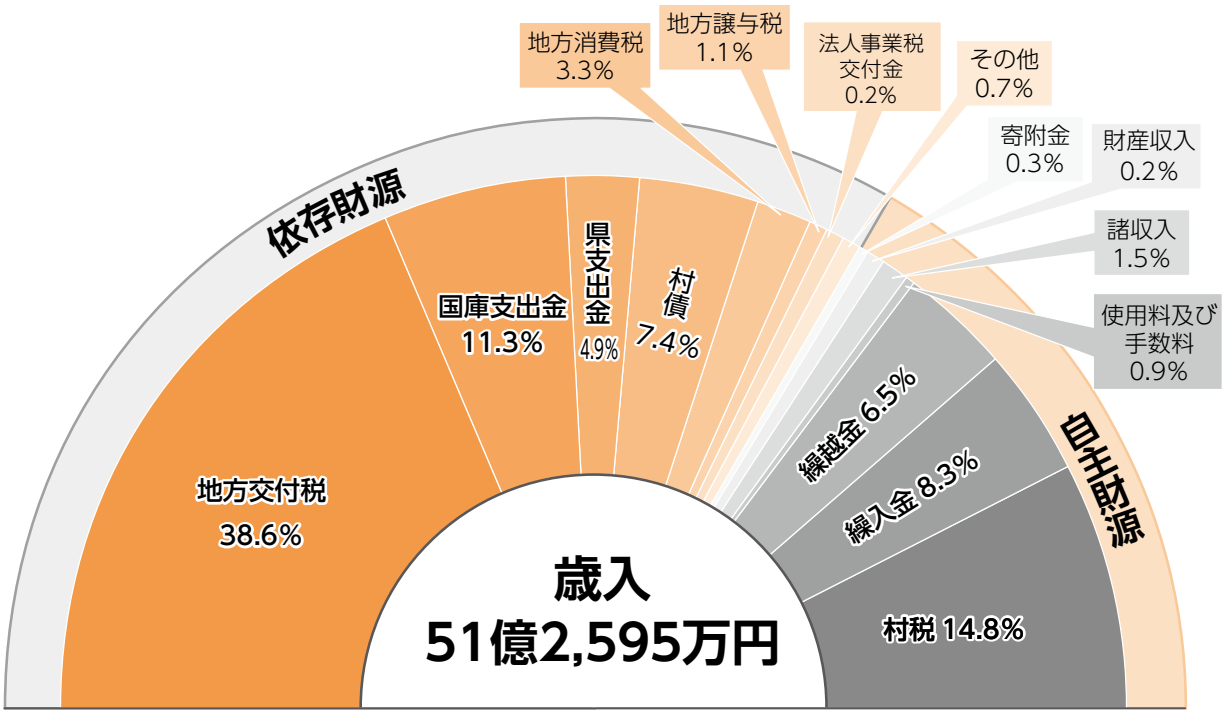
事業の大小に関わらずすぐに着手できることには即座に対応し、今後の人口減少の問題や学校等建設など大きな事業に対応しうる、柔軟な財政運営が一層求められる。

令和７年度決算認定

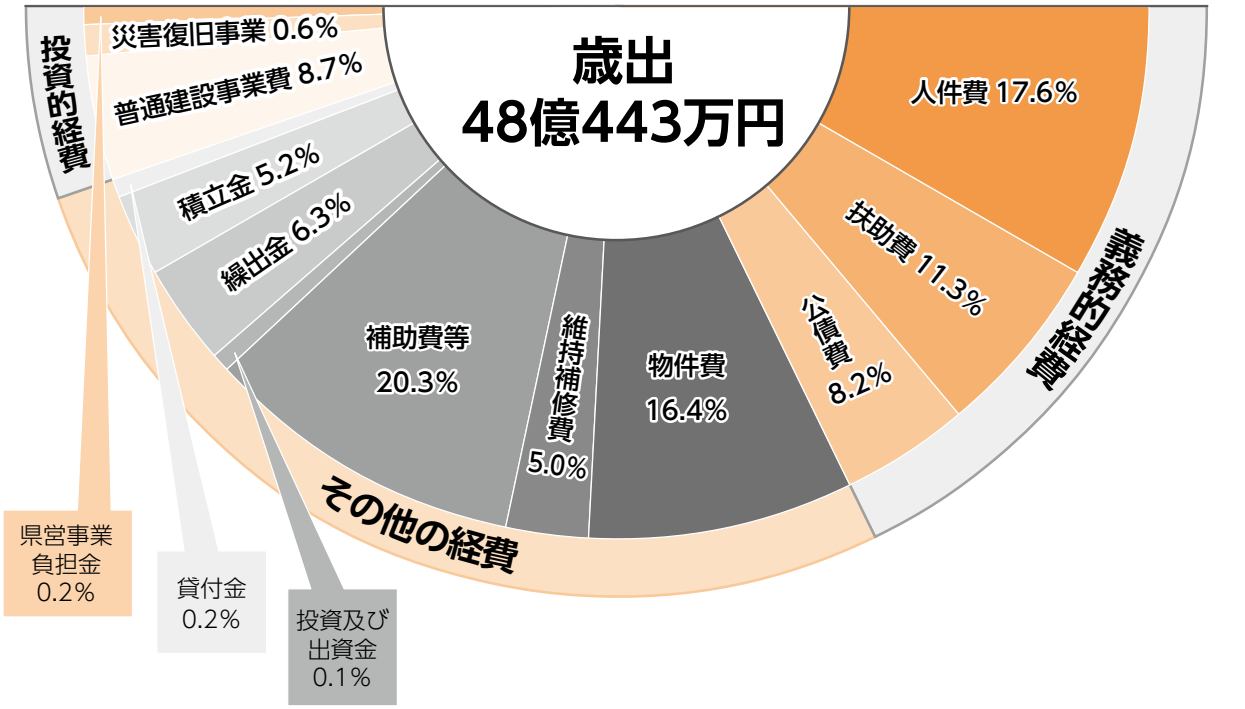
人件費、維持補修費が増、

前年と比べ
5,791万円増

前年と比べ
1億3,940万円増



令和７年度決算内訳



議会だよりへの
ご意見はこちら

限られた財源をいかし、各事業を着実に推進

決算審議

令和7年度決算は、全議員で構成する決算審査特別委員会で、一般会計など7会計を審議しました。

決算審査特別委員会に付託された全議案は認定すべきものとし、本会議でも全て賛成全員（全会一致）で認定しました。ここでは監査意見、決算審査特別委員会での質疑、総括質疑を要約して報告します。



迅速に対応された災害復旧工事現場（北須釜地区）



盛大に開催された玉川村制施行70周年記念式典

令和７年度各会計の決算状況

会計別		歳入決算額	歳出決算額	収入未済額（滞納額）※
一般会計		51億2,595万9,212円	48億　443万8,790円	4,556万7,680円
特別会計	国民健康保険	6億7,729万6,552円	6億2,300万3,162円	1,432万3,290円
	介護保険	7億4,671万7,117円	6億8,164万4,876円	233万8,150円
	後期高齢者医療	7,993万　649円	7,897万2,061円	9万7,500円
	宅地造成事業	5,611万8,452円	5,611万6,551円	0
合　　計		66億8,602万1,982円	62億4,417万5,440円	6,232万6,620円
前年度合計		65億8,589万8,497円	61億3,845万7,748円	5,885万3,125円
増減率（%）		＋1.5%	＋1.7%	＋5.6%

※村税・手数料の滞納額

健全な財政を次世代へ 求められる行財政改革

監査意見

一般会計

令和7年度は、実質収支2億9137万1千円の黒字となった。しかしながら、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は98・2%であり、前年度より1.6ポイント悪化した。適正水準は80%程度とされるところ、本村では令和4年度から4年連続で90%を超えており、財政の硬直化が懸念される。よって、その原因を究明し、経常的経費の抑制に一層留意されたい。

また、歳入における自主財源と依存財源の割合は32対68であり、自主財源比率は前年度より0.3ポイント低下している。

厳しい財政状況の中、引き続き行財政改革を推進し、村民の期待に応える村づくりに取り組まれることを期待する。

上水道事業会計

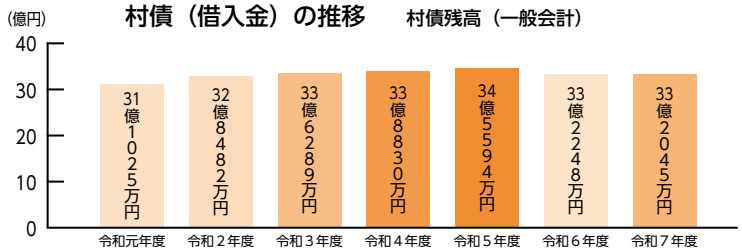
令和7年度における給水戸数は1936戸（対前年比38戸増）、給水人口は5221人（対前年比70人減）となった。年間配水量は615342㎥で対前年比220㎥の増となった。水道料金は供給単価191・52円に対し、給水原価は478・97円となっており、1㎥当たり287・5円の持ち出しとなっている。今後も水道未普及地域解消事業、老朽配水管の布設替工事も見込まれるので、滞納金の発生防止・回収とさらなるコスト削減、経営改善に努めていただきたい。

農業集落排水事業会計

令和7年度における接続戸数は738戸で、年間処理水量は198866㎥で1日平均処理水量は545㎥となった。

経常収支については、収益的収入が2億1100万3千円、収益的支出は2億945万2千円で純利益は155万1千円となった。しかし、農業集落排水事業単独では赤字であるため一般会計からの補助金9613万7千円により収益が出る構造となっている。今後も更なるコスト削減と経営改善等に心がけ、玉川地区の接続の推進を図りながら収益性の高い事業経営に努めていただきたい。

村債（借入金）の推移　村債残高（一般会計）



基金の残高

	財政調整基金
令和3年度	8億5,135万円
令和4年度	9億5,591万円
令和5年度	9億　201万円
令和6年度	7億8,362万円
令和7年度	5億7,423万円

財政指標　令和７年度玉川村一般会計等健全化判断比率

		実質赤字比率 一般会計の赤字額標準財政規模※に占める割合	連結実質赤字比率 全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合	実質公債費比率 全会計の償還額が標準財政規模に占める割合	将来負担比率 将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合	公営企業会計に係る資金不足率 資金不足の額が事業規模に占める割合
玉川村		—	—	**12.3%**	**134.3%**	—
国の指標	早期健全の基準	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%	20.0%
	財政再建の基準	20.0%	30.0%	35.0%	—	—

※標準財政規模　標準的な税収、地方交付税、地方譲与税等自由に使える財源の標準的な規模を表します。

議会だよりへの
ご意見はこちら

財政運営へ が思う疑問



決算審査特別委員会

決算審査特別委員会では、村が一年間に行った事業や予算が適正・効果的に執行されたかを審査します。各課から実績や成果の説明を受け、予算の使われ方や事業効果、今後の課題などについて質疑を行いました。

ここでは、各課への質疑の一部を掲載します。



総務課

問 職員のストレスチェックについて、結果や集団分析を踏まえ、職場環境の改善にどのように取り組んでいるのか。

答 毎年ストレスチェックを実施し、アンケートや質問項目から職員の状況を把握している。結果は職員安全衛生委員会で分析し、必要な職員には面接を行うなど対応している。

問 村制施行70周年記念式典の成果は。

答 オープニングでは玉川中学校が合唱と応援団演舞を披露し、来場者から好評を得た。また、70周年の歩みを映像で紹介し、村の歴史を振り返る機会となった。他自治体からも評価をいただくなど、記念式典として一定の成果があった。

問 勤怠管理システム導入の効果は。

答 紙で行っていた有給休暇や超過勤務などの申請・管理がしやすくなり、事務の効率化と職員の負担軽減につながっている。

健康福祉課

問 5歳児健康検査で、発達面などを確認する専門医等の支援体制は整っているのか。

答 公立岩瀬病院の小児科医をはじめ、歯科医、歯科衛生士、臨床心理士、村保健師が対応し、身体面だけでなく発達状況を確認する重要な健診として実施している。

問 こころの相談会の周知方法と、相談者の支援はどう行っているのか。

答 保健センターを窓口として広報紙やSNSで周知し、窓口相談は40件あった。保健師が対応し、必要に応じて医療機関や専門機関につないでいる。児童には臨床心理士による相談会も実施し、継続支援につながったケースもある。

問 ゲートキーパー養成講座の受講状況と、その後の活動は。

答 民生委員や社会福祉協議会職員など17人が受講し、地域で気になる方を相談窓口につなぐ役割を担っている。

産業振興課・農業委員会

問 農業次世代人材投資資金の交付対象となる農業形態と周知方法は。

答 独立就農者が対象で、交付者3人のうち2人はキュウリ中心、1人は果樹や花きに取り組んでいる。制度はホームページや認定農業者協議会総会、就農相談時に周知している。

問 県外での農産物PRは、販路の開拓・拡大につながっているのか。

答 物産展などを通じ、風評被害の払拭と販路拡大に取り組んできた。今後は米の販路拡大にも重点を置き、ECサイトやQRコードを活用して購入につなげ、具体的な実績に結びつけたい。

問 空港関係の各協議会への参加や要望、PR活動の内容と成果は。

答 大阪府豊中市の農業祭で玉川村をPRしたほか、沖縄では福島―那覇便の復活に向けた要望活動を行った。

持続可能な
委員それぞれ



地域整備課・遊水地対策室

問 村道の維持・補修について、地域からの要望にはどう対応しているのか。

答 令和7年度は村内32カ所で村道維持工事を実施した。行政区や村民からの要望のうち、緊急性の高い箇所を重点的に補修している。

問 遊水地の先進地視察を、今後の整備にどう生かしていくのか。

答 農地利用やスポーツパークとして活用する遊水地を視察した。結果は庁内プロジェクトチーム会議で報告し、本村の遊水地利活用を検討する上で参考としている。

教育委員会・学校等整備対策室

問 各小中学校の体育館に整備したWi-Fiの内容は。

答 防災施設としての活用も考慮し、Wi-Fi設備がなかった体育館に令和7年度、新たにアクセスポイントを増設した。

問 令和7年度の事業で、教育委員会として特に成果があったものは。

答 国際教養大学とのオンライン英語教育は、児童や教員への刺激となり、効果的な取組となった。また、玉川大学生による学習支援も、学習への気づきや将来の志につながるなど、長期的な教育効果が期待できる事業と捉えている。

公民館

問 長年続く花いっぱい運動を、参加者確保などの課題を踏まえ、今後どのように継続していくのか。

答 32年目を迎えるが、参加者確保が難しくなっている。事業を縮小するなど工夫しながら、ボランティア事業として存続できる方法を検討していく。

問 村制施行70周年記念コンサートの成果や課題をどう捉えているか。

答 宝くじ事業の財源を活用し、安価な入場料で実現できた。来場者からは好評を得られた。文化講演会は今後も2年に1回の事業として継続したい。

住民課

問 令和7年度の住民課事業で、特に成果があったものは。

答 マイナンバーカードの普及が進み、令和8年3月末の保有枚数は5172枚、保有枚数率は85・5%となった。以前は県内でも低い水準だったが、上位に入るまで普及が進んだ。

税務課・会計室

問 国民健康保険税の収納率向上に向け、どのような取り組みを行ったのか。

答 令和7年度から督促状や催告書に加え、新たに納付勧奨通知を送付した。31件の通知に対し26件で納付などの動きがあり、収納目標の達成につながった。

企画政策課

問 移住・定住促進事業について、令和7年度の成果をどのように評価しているのか。

答 移住対策に力を入れる中、民間の「Uターンしたい街ランキング」に玉川村が選ばれるなど、客観的な評価につながる成果が表れてきたと捉えている。

問 地域おこし協力隊13名の活動について、費用対効果をどう捉えているのか。

答 伝統芸能の継承支援や観光振興など、多様な分野で活動しており、地域に「新しい風」をもたらす存在として効果があると捉えている。

総括質疑

問 将来に過度な負担を残さない、持続可能な財政運営をどのように進めていくのか。

答 令和7年度決算では自主財源が32・4%、依存財源が67・6%となっている。財政指標や健全化を判断する指標を確認し、様々なシミュレーションを行いながら、持続可能で健全な財政運営を検討していく。

問 職員の負担状況をどのように捉え、今後の人員確保や適正な人員配置をどう進めていくのか。

答 ストレスチェックや面談に加え、超過勤務の状況を把握し、特定の職員に業務が偏らないよう管理している。現在、定員適正化管理計画の策定も検討しており、人材育成を含め、将来を見据えた組織体制や定員、業務のあり方を見直していく。

議会だよりへの
ご意見はこちら

補正予算

令和8年度一般会計補正予算（第3号）は、主なもので歳入は繰越金、歳出は企画費の泉郷駅前臨時駐車場整備工事をはじめ、4月の人事異動に伴う給与等人件費、デジタル基盤改革支援事業に伴う委託料や、令和7年度決算に伴う歳計剰余金の財政調整基金への積立金等に係る総務費、そして、社会資本整備総合交付金事業等に係る土木費、地域診療情報連携推進事業に係る衛生費をそれぞれ増額するものとして可決した。

一般会計補正予算（第３号）の主な内容

歳入	
繰越金	2億4,137万円
歳出	
4月の人事異動に伴う給与等人件費、デジタル基盤改革支援事業に伴う委託料、令和7年度決算に伴う再計上余金の財政調整基金への積立金等に係る総務費	1億5,813万円
社会資本整備総合交付金事業等に係る土木費	1,613万円
地域診療情報連携推進事業に係る衛生費	793万円

JR水郡線泉郷駅前臨時駐車場 実証事業

今回の補正予算では、村の実証事業として「泉郷駅前臨時駐車場整備工事」が盛り込まれた。

臨時駐車場は、泉郷駅利用者等の利便性の向上、民間企業等の臨時利用なども想定し、15台程度の駐車スペースを設けるほか必要な照明や看板を設置する。



泉郷駅前の臨時駐車場整備予定地

会議メモ

なぜ、補正予算で実証事業なの？

遊水地の完成延期や物価高騰などにより、泉郷駅前の本格的な開発は先送りになったんだ。

そこで、まずは臨時駐車場を設け、実証事業を行うことになったよ。



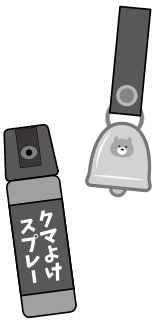
主な質疑

問 県補助金で狩猟技術向上等支援事業補助金の対象範囲は。

答 「第一種狩猟免許新規取得者支援事業」は、第一種狩猟免許新規取得者へ銃砲所持許可取得のための経費は対象範囲となり、上限は3万円となる。また、「新規狩猟者初期費用支援事業」は対象費用の2分の1補助で上限が4万円となり、狩猟免許新規取得者へ狩猟を始めるための必要経費が対象となる。

問 有害鳥獣用備品「クマ対策」について、備品等の設置時期は。

答 予算要求が通り次第、備品の購入・設置を進める。



専決処分

令和8年度一般会計補正予算（第2号）の主なものとして、敬老祝金、物価高騰対応子育て支援給付金が専決処分として可決した。

敬老祝金は敬老会の際に給付される祝金に一人一律1千円を上乗せするもの。物価高騰対応子育て支援給付金は0歳から中学生までの子供に一律5千円を支給するもの。

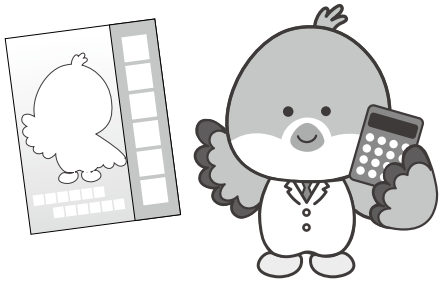
一般会計補正予算（第２号）の主な内容

歳入	
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	489万円
歳出	
敬老祝金	116万円
物価高騰対応子育て支援給付金	315万円

条例

議会議員及び玉川村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法施行令の一部改正により、選挙運動用ビラ及びポスター作成にかかる公営に要する経費の限度額が資材費等高騰により引き上げられたため、本条例の一部を改正するもの。



印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

出入国管理及び難民認定法等の改正に伴い、マイナンバーカードと一体化した特定在留カードもしくは特定特別永住者証明書が新たに交付された。これにより、コンビニで印鑑登録証明書を取得する際、マイナンバーカードのほか、特定在留カード等も利用できるようにするもの。



地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例

地域再生法第十七条の六の地方公共団体等を定める省令の一部を改正する省令の施行に伴い、村条例の一部に所要の改正を行うもの。

福島県特定事業活動振興計画に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

福島県福島復興再生特別措置法第二十六条等の地方税の課税免除または不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部を改正する省令の施行に伴い、村条例の一部に所要の改正を行うもの。

人事

教育委員会委員の任命同意

令和8年11月23日の任期満了に伴う、委員再任提案に、同意した。

再任

田母神（たもがみ）　久美子（くみこ）氏（小高）



議会を傍聴しませんか

9月定例会の傍聴人数　43人（令和8年累計傍聴人数69人）

次回の定例会12月上旬を予定

一般質問は、12月5日（土）に予定しています。

議会だよりへの
ご意見はこちら

一般質問

村政ここがききたい
７人の議員が質問

一般質問とは、議員が村長など執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。

住民を代表しての発言の場であることから、大きな関心と期待を持たれる大事な議員活動です。

※一般質問各ページは、質問した議員が執筆しております。

1	須藤　安昭	1．教育の現状と課題解決に向けて	11ページ
2	小針　善誠	1．聖域なき改革で安定した財政基盤構築を	12ページ
3	岩谷　幸雄	1．次世代へ持続可能な財政運営を	13ページ
4	堀越　美保	1．孤立させない、地域で支える子育て	14ページ
5	佐久間福男	1．防災体制強化への取り組みを 2．介護保険料算定誤りの再発防止は	15ページ
6	大羅　　将	1．日本一自転車が好きな村に向けて	16ページ
7	円谷　兼一	1．地域商業活性化のための取り組みは	17ページ





須藤（すどう） 安昭（やすあき） 議員

教育の現状と課題解決に向けて

質問に込めた想い

統合小学校、義務教育学校を見据えた小学校建設計画が進んでいる。重視すべきは校舎という『器』でなく、そこで営まれる教育の実質的な内容であると考える。教育長へ現状と課題解決についてただした。

問 4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果、分析、今後の取り組みは。

答 全体的に読む、書く、計算するという基礎的な学習訓練が必要かつ重要。教育事務所の指導を受けながら、指導力を高めたい。

問 文科省の指針では中学校卒業時に英検3級（相当）取得率50％以上が目標とされている。本村の実績、評価は。

答 今回の全国学力・学習状況調査の結果では英検3級程度の生徒の割合は全国平均並みである。

問 ALT（外国語指導助手）が配置されて長年経過する。活動内容と実績は。

答 地域の子供をよく理解し、それに応じ英語に親しむ環境づくりに貢献している。中学校の英語弁論大会では、高いレベルの発表ができている。園小中にて英語教育に取り組んでいる。

問 新校舎完成や義務教育学校移行を待たずとも、直ちに着手すべき課題は。

答 園小中連携による英語教育の充実、各校の特色を生かした総合的な学習、ICT教育、部活動の地域展開など、出来るところから魅力ある玉川村の教育に取り組んでいる。



ALTによる英語学習

問 教員に求められる能力は授業、学級マネージメントはもちろんだが、子供達の心を動かす「人間力」と考える。本村に赴任された先生方に、その資質や人間力を発揮する支援、指導はしているか。

答 園小中校長会にて具体的に指示し、学校訪問で指導の様子を参観するなどして、教師の姿を通し社会人としての責任感や使命感、人との関わり方などを子供達にどのように見せていくか等アドバイスしている。

問 学校、家庭、地域で子供を育てるといわれるが大切なことは。

答 教員と保護者の会話の積み重ねが信頼関係につながる。この学校に勤務してよかった、あの先生が来てくれてよかったと言われる関係をつくっていきたい。

【振り返って】須藤 安昭

玉川村で学ぶ子供達が夢や希望を膨らませ、実現できることが私たちの願い。学校、家庭、行政を含めた地域が教育環境を充実させなければならないことを再認識した。

議会だよりへのご意見はこちら



小針（こばり） 善誠（よしとも） 議員

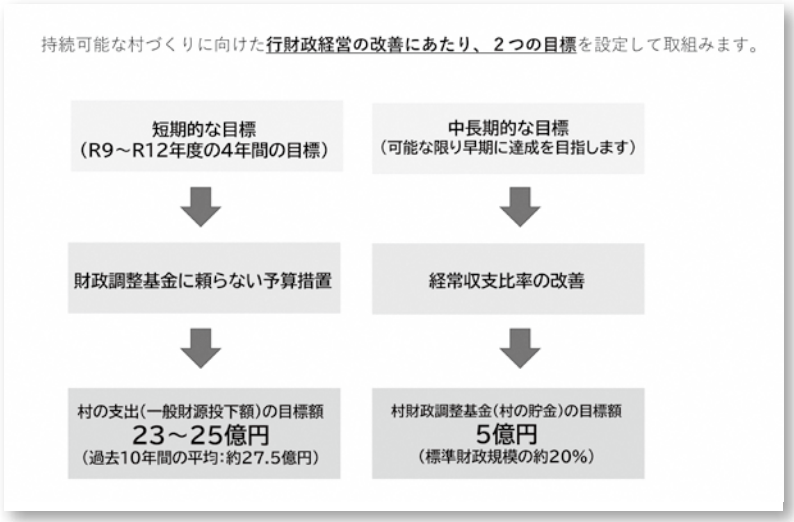
聖域なき行革で安定した財政基盤構築を

質問に込めた想い

厳しい財政状況への強い危機感から示された第８次行財政改革大綱。前例に囚われず聖域なき行革を断行し、将来の村や次世代へ持続可能な財政基盤を引き継いでほしい。

問 財政調整基金の目標額確保に直面する課題は。

答 扶助費や人件費など義務的経費、および投資的経費の増加、また近年の物価高騰による計上的経費の増大が要因となり、歳出規模が一般財源を上回り、財政調整基金取り崩しにより補填する状況が続いていることが課題。



村が示した財政経営の取組目標と方向性

問 聖域なき見直しの聖域をどう捉えているか。

答 特定の分野や事業を対象から排除せず、反対が予想され見直しの対象とされにくかった領域も例外とせず検証していく。

問 上水道事業・農業集落排水事業への一般会計への依存体質の見解は。また一般会計の依存が行財政改革の阻害とならないか。

答 公営企業会計は独立採算制や受益者負担が原則。その観点から料金体系の見直しやコスト削減など健全化への取組みは必要。特に基準外繰出金は、効率的な経営と村民福祉の向上などトータル的な政策形成の中で検討していきたい。

問 上水道料金や農業集落排水使用料の値上げなど、受益者負担の見直しを先送りせず、検討すべき時期ではないか。

答 経営基盤の強化を考えれば、給水原価と供給単価には大きな差が生じており、使用料金の見直しに取組む必要があると認識している。それにより一般会計の負担軽減にもなるものと考える。

問 小学校統合および学校等建設の事業を控えているが、行財政改革に呼応し小学校の統合を急がない、あるいは校舎建設の先送りも選択として必要ではないか。

答 校舎の老朽化、複式学級が生じる状況の解消など教育環境の整備を統合という方針で進めたい。一方で財政状況を考慮し、慎重かつ計画的な進め方が必要。財政全体のシミュレーションを作成し選択と集中によるメリハリのある財政運営を心掛ける。

【振り返って】小針 善誠

将来を見据えた果断な行革を願い、ロードマップの提示なども求めた。村長の答弁には行革への断固たる決意が聞かれつつも、村民の負担などを考慮した慎重な財政運営への姿勢も確認できた。



岩谷（いわや） 幸雄（ゆきお） 議員

次世代へ持続可能な財政運営を

質問に込めた想い

将来世代に負担を先送りすることなく、この村に住み続けたいと思える玉川村を築くため、人口減少時代を前提とした持続可能な財政運営の実現に向け、一層の取り組みを実現してほしい。

問 人口減少を前提とした場合、目指すべき財政構造は。

答 本村が目指すべき財政構造とは歳入に見合った歳出を基本としながら、社会経済情勢の変化や不測の災害等にも対応できるよう、財政調整基金などの備えと、状況の変化に対応できる弾力性とを併せ持った構造であると考えている。



未来へつなぐ、持続可能な玉川村

問 将来世代へ過度な負担を先送りしない、今後の財政運営をどう目指していくのか。

答 歳入に見合った歳出を基本とする財政構造を実現するには、その土台なる日々の財政運営において、単年度の収支にとらわれず、常に将来を見据えた判断を積み重ねていくことが肝要である。また、必要な基金の計画的な積立てや、将来の維持管理費まで含めた事業選択、将来世代に過度な負担を残さないよう配慮した計画的な起債の活用などに取り組みます。

問 今後、大型事業やインフラ更新が続く中で、普通交付税への依存構造どの様に認識し、持続可能な財政運営と村の将来像をどのように描いていくのか伺います。

答 普通交付税を重要な一般財源として適切に活用するとともに、今年度策定を予定している。第8次玉川村行財政改革大綱及び（仮称）財政改革集中アクションプランにおいて、歳出の抑制と自主財源の確保に向けた目標を設定し、その達成に向けた取組を集中的に実施していく。

問 交付税制度の見直しや人口減少による交付額の変化も想定されるが、自主財源の確保は。

答 歳入に見合った歳出を実現していく上で、大変重要な課題であると認識している。職員一人一人が費用対効果を意識し、貴重な自主財源をより効果的かつ効率的に活用できるよう、集中的に取り組む。

【振り返って】岩谷 幸雄

村民が安心して子育てができ、高齢者が安心して暮らせ、若い世代がこの村に住み続けたいと思える地域を実現するためには、財政は健全であり、必要なインフラは計画的に維持され、限られた財源が真に必要な施策へ重点的に配分されることを、引き続き求めていきたい。

議会だよりへのご意見はこちら



堀越（ほりこし） 美保（みほ） 議員

孤立させない、地域で支える子育て

質問に込めた想い

子育て家庭の孤立防止の観点から、既存の施設や地域の人材を生かし、地域の方が身近な話し相手や見守り役となり、必要に応じて関係機関へつなぐ仕組みづくりに、村として積極的に取り組んでほしい。

問 令和６年度にこども家庭センターが開設されたが「自ら相談することが難しい家庭」への対応・対策は。

答 妊娠後期から産後まで保健師との面談体制を整えており、面談率は１００％である。しかし、窓口で行政側が相談を待つだけでは支援が届きにくい家庭もある。アウトリーチやプッシュ型の情報発信を強化し、予防的な支援にも取り組んでいく。

問 子育てや不登校などの悩みを気軽に話し、親子や保護者同士の交流の場を設ける考えと、その必要性について認識は。

答 必要性は強く認識している。保健センター等各公共施設で親子向けの教室やイベント等を開催し、すがまプラザ交流センターやふるさと館でも、コミュニティースペースや親子の遊び場として開放するなど、交流の場として機能している。今後も相談や情報提供、親子が気軽に集える場づくりに努めていく。



子育て相談に寄り添う保健師（こども家庭センター）

問 第７次玉川村総合計画では「地域全体で子どもの成長を見守る」とあるが、地域ボランティアなどの形成をどのように支援していくのか。

答 地域ボランティアは子育て支援の重要な基盤となる。既存の活動との連携を強化し、新たな担い手には、保健センター等を相談窓口として情報提供を行い、必要な知識やスキルを学ぶ機会の充実に努めていく。

問 不登校の初期段階から、児童生徒と保護者に相談先等利用できる支援を伝える仕組みと、今後の支援強化について伺う。

答 学校では担任、養護教諭、スクールカウンセラーが初期対応を行い、必要に応じこども家庭センターや、各相談機関につないでいる。さらに、中学校では特別室を活用し支援も行っている。今後も関係機関と連携し、気軽に相談できる体制や保護者同士のネットワークづくりなどを調査研究していく。

【振り返って】堀越 美保

子育て家庭の孤立を防ぐには、身近に話せる人や見守る人の存在が重要。地域住民も支える協力者の一員となって関わり、必要なときには関係機関につなげられる仕組みづくりを進めてほしい。



佐久間福男（さくまふくお） 議員

防災体制強化への取り組みを

質問に込めた想い

近年の地球温暖化に伴い、自然災害が激甚化・頻発している中において、いつ災害が発生してもおかしくない状況にある。防災体制強化における、実効性のある取り組みと多角的視点から充実を図っていく必要がある。

問 自主防災組織の勉強会や育成のための実施計画は。

答 具体的な実施計画を定めているものではないが、自主防災組織の育成へ繋げられるような災害への備えや避難行動、自主防災組織の役割などに関するパンフレットなどを早急に作成・配布し情報提供や啓発を定期的に行っていく。



先進的な防災設備で安心のまちづくり

問 防災士資格の取得に対する考えは。

答 職員のほかに自主防災組織や消防団などの地域防災活動を担っていただける方などを対象とした資格取得に対する支援の在り方について、他自治体の取り組み等も調査研究していく。

問 ドローンを活用する考えは。

答 迅速な情報収集に有効と考える。ドローンの活用に当たっては、機器の運用や操縦者の確保、関係法令への対応など一定の体制整備が必要となる。国・県等の支援制度のほか、他自治体の活用事例や民間事業者等との連携について調査研究していく。

介護保険料算定誤りの再発防止は

問 村としての説明責任は。

答 対象となられた16名の方々に対し個別に自宅を訪問し、直接経緯や原因今後の対応について謝罪の上、丁寧に説明し全員から了承をいただいた。対象者の方々への個別説明及びホームページ等による公表をもって、現時点での説明責任は果たしたと考えている。

問 再発防止への取り組みは。

答 確認体制の見直し、さらには業務フローの再確認の取り組みについて職員に通知をし対応していく。重要な事務処理においては、改めて複数の職員でダブルチェックを意識して行うなど、万全を期す確認体制を整えていく。

【振り返って】佐久間福男　課題解決に向け、進展させていく答弁であったと感じた。地域に防災体制の進化と整備充実を図り『自助・共助・公助』による安全・安心な村づくりに取り組んでいくことを期待する。

議会だよりへのご意見はこちら



大羅（おおら）　将（ひとし）　議員

日本一自転車が好きな村に向けて

質問に込めた想い

「日本一自転車が好きな村」を単なるスローガンで掲げるだけでなく、村民一人ひとりが自転車を身近に感じ、胸を張って「自転車が好き」と言える、名実ともに日本一好きな村を目指して環境づくりを進めてほしい。

問　「日本一自転車が好きな村」の確立に向け、今後必要な取り組みは。

答　他市町村との差別化を図り、玉川村でしかできない体験を提供する。県内外のＢＭＸやマウンテンバイク愛好者だけでなく、村民の利用者も増えるように生涯スポーツとして事業展開をしていく。



アーバンスポーツたまかわ

問　ナショナルサイクルルートを見据えたサイクルツーリズムの推進と、観光施設等との連携は。

答　認定には概ね１００ｋｍ以上のルート設定など広域連携が不可欠で、現時点で認定に向けた取り組みは行っていない。周辺自治体の動向を踏まえ調査研究していく。

問　駅周辺の放置自転車撤去と、防犯カメラ設置などの対策は。

答　令和３年度に泉郷駅・川辺沖駅で計50台、令和７年度に12台を撤去。盗難被害が確認されていないため防犯カメラの設置予定はないが、警察や防犯協会との協議で必要性が認められれば検討する。

問　「日本一自転車が好きな村」の根拠や定義は。

答　明確な基準はないが、分かりやすさ、モチベーション向上に繋げ、「日本一自転車が好きな村」をシンボル的な目標として掲げ、村民と一緒に確立していく考え。

問　これまでの具体的な成果と評価は。

答　令和５年度以降、各施設の会員登録者数や利用者数は増加し、県外からの来訪や飲食店や小売店、宿泊施設などにも、経済的波及効果をもたらしている。また、テレビや新聞、雑誌等のメディアにも大きく取り上げられており、休日を中心に、県内外から多くの若者や家族連れが来村している。

【振り返って】　大羅　将

「日本一自転車が好きな村」は、玉川村の新たな魅力と可能性を切り開く大きな旗印である。村外の方に「玉川村に行ってみたい」と思っていただき、村民一人ひとりが「自分たちは自転車が好きな村だ」と胸を張って言える。その積み重ねで名実ともに日本一があると考える。単なるスローガンではなく、玉川村の誇りとして村民に根付いていくことを願う。



円谷（つむらや） 兼一（けんいち） 議員

地域商業活性化のための取り組みは

質問に込めた想い

地域と商業を今以上に魅力あるものにするためには、どうすれば良いか。村と村民が一丸となって取り組んでいき、活性化できれば良いと思う。

問　本年3月の定例会で提案した「玉川村のイメージキャラクターを活用したジグソーパズル」や、「たまかわ産業まつり」の地域と商業の活性化に向けて、どのような取り組みを行うのか。

答　産業まつりについては、出店方法等の見直しを行い、地域商業の認知度向上につながるよう取り組む。

問　出店方法等の見直しを行うとするが、どのような産業まつりを目指しているのか。

答　議員から頂いたアイデアも参考にしながら、産業まつりの中で子供向けの新たな取り組みやＰＲ等を行う。

問　「乙な駅たまかわ」の来場者数が10万人を達成したことを踏まえ、施設全体ではなくレストランの来場者数はどうなっているのか。

答　昨年、料金体系やメニューの見直しをした結果、前年同月と比較し、来場客数は増加傾向にある。

問　昨年度より利用者数は増加しているものの、平日の昼時間帯は利用客が少ないように感じる。乙な駅レストランには、価格も手頃で美味しいポークステーキやチキンステーキがあるため、議員や役場職員も積極的に利用し、その魅力を情報発信して利用促進につなげてはどうか。

答　村内及び村外の方々に知ってもらえるよう、しっかりとＰＲしていきたい。

問　「森の駅yodge」の宿泊者数は、伸び悩んでいると思うがどうか。

答　今回、大手旅行会社と提携した結果、7月の宿泊者数は、昨年の3倍になった。

【振り返って】円谷 兼一

提案したジグソーパズルで、たまかわ産業まつりの新しい取組みをすることは喜ばしい。持続可能なものにしてもらいたい。また、『乙な駅たまかわ』と『森の駅yodge』が、更に賑わいを出せるようＰＲの強化に努めてもらいたい。



乙な駅の低価格で美味しいポークステーキ

議会だよりへのご意見はこちら

９月定例会の審議内容・審議案件と各議員の賛否

全会一致で賛成の場合、個別の賛否は省略しました。

議案番号	議　案　名	採決	内　容　等
報告第４号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告	報告	５ページに記載
議案第49号	令和７年度上水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定	可決及び認定	未処分利益剰余金を減債積立金へ積み立て、残金を繰越しする。あわせて令和７年度決算の認定
議案第50号	令和７年度農業集落排水事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定	可決及び認定	未処分利益剰余金を減債積立金へ積み立て、残金を繰越しする。あわせて令和７年度決算の認定
議案第51号	村議会議員及び村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例	可決	９ページに記載
議案第52号	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決	〃
議案第53号	地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例	可決	〃
議案第54号	福島県特定事業活動振興計画に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	可決	〃
議案第55号	専決処分の承認を求めること（専決第７号　令和８年度一般会計補正予算（第２号））	承認	８ページに記載
議案第56号	令和８年度一般会計補正予算（第３号）	可決	〃
議案第57号	令和８年度介護保険特別会計補正予算（第２号）	可決	歳入歳出それぞれ6,616万円を追加し、予算総額７億5,185万円とする。
議案第58号	令和８年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	可決	歳入歳出それぞれ95万円を追加し、予算総額8,881万円とする。
議案第59号	令和８年度上水道事業会計補正予算（第１号）	可決	収益的収入支出それぞれ13万円を増額し、予算総額を2億9,732万円とする。
議案第60号	令和８年度農業集落排水事業会計補正予算（第１号）	可決	資本的支出における施設修繕費3,629万円を追加する。
議案第61号	指定金融機関の指定	可決	本年11月より指定金融機関が、「夢みなみ農業協同組合」から「須賀川信用金庫」へ変更（２年間）
議案第62号	教育委員会委員の任命につき同意を求めること	同意	９ページに記載
認定第１号	令和７年度一般会計歳入歳出決算の認定	認定	６～７ページに記載
認定第２号	令和７年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	〃
認定第３号	令和７年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	〃
認定第４号	令和７年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	〃
認定第５号	令和７年度宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	〃



読みやすくするため、議案名を一部省略しています。

表紙の写真説明

見角（みかど）さんご一家



以前のお住まい
郡山市

移住の決めて
ご実家や勤務先が離れていることから、中間地点を選びました。

村に期待する事
すがまプラザの近くに公園があると良いです。プラザ内で遊べる場所があると良いと思います。

議会広報クリニックに参加しました（7月1日）

福島県町村議会議長会が主催する令和８年度議会広報研修会が、令和８年７月１日（水曜日）、ビッグパレットふくしま（郡山市）で開催され、本村からは６名の議員が参加しました。

研修会では、玉川村の議会だよりを題材に「議会広報クリニック」が行われ、町村議会広報全国コンクールの審査員も務める講師から、貴重なご意見をいただきました。



講師から助言を受ける広報委員

公立岩瀬病院企業団議会、須賀川地方広域消防組合議会、石川地方生活環境施設組合議会 定例会・臨時会レポート

当村議会から公立岩瀬病院企業団議会、須賀川地方広域消防組合議会、石川地方生活環境施設組合議会、それぞれの議会議員として定例会等へ出席しています。
今回は6月定例会以降に開催された各議会について概要をお知らせします。



○ 公立岩瀬病院企業団議会

村の負担金 940万円

出席者（林芳子議員）
令和８年６月定例議会／令和８年６月30日開催
・公立岩瀬病院企業団広告式条例の一部を改正する条例 …… 可決

○ 須賀川地方広域消防組合議会

村の負担金 1億7,835万円

出席者（佐久間福男議員）
令和８年第１回臨時会／令和８年７月17日開催
・令和７年度須賀川地方広域消防組合一般会計予算繰越明許費の繰越しについて … 報告
・専決処分の承認を求めることについて …… 承認
・令和８年度須賀川地方広域消防組合一般会計補正予算（第１号） …… 可決
・消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）購入契約締結について …… 可決
・救助併用型消防ポンプ自動車購入契約締結について …… 可決
・支援者Ⅲ型購入契約締結について …… 可決
・災害対応特殊救急自動車購入契約締結について …… 可決

○ 石川地方生活環境施設組合

村の負担金 1億8,656万円

出席者（円谷兼一議員、堀越美保議員、小針善誠議員）
令和８年第２回臨時会／令和８年８月４日開催
・令和７年度石川地方生活環境施設組合一般会計繰越明許費繰越計算書について … 報告
・石川地方生活環境施設組合職員旅費条例の全部を改正する条例 …… 可決
・石川地方生活環境施設組合議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 …… 可決
・石川地方生活環境施設組合の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 …… 可決
・石川地方生活環境施設組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 …… 可決
・令和８年度石川地方生活環境施設組合一般会計補正予算（第１号） …… 可決
・石川地方生活環境施設組合監査委員の選任について …… 可決

議会だよりへの
ご意見はこちら

追跡

一般質問のその後は

令和7年12月定例会

Q 村では防犯カメラを購入し希望者に対して貸し出す考えはあるか。

A 利用方法、利用環境等も様々であり、一律に同機能のものを整備し、貸し出すということは、現時点では考えていない。

Q 個人で防犯カメラ、防犯設備を設置する際に、助成をする考えがあるか。

A 現時点では村としての助成制度は設けていないが、周辺自治体においては、個人が設置する防犯カメラに対して助成金を交付する取り組みを行っている事例も承知している。

▼

その後、玉川村当局は、調査研究を実施し、3月の定例会では補正予算として計上され、実現に至りました。

▼

具体的な決定事項



住宅用防犯カメラ等設置事業補助金



対 象 者
・本村に居住していて、かつ、本村の住民基本台帳に登録されている方

対象機器
・防犯カメラ、防犯カメラで撮影した映像を確認するモニター等
・人感センサーライト
・センサーアラーム
・防犯機能付電話機

補 助 額
対象経費の合計額の２分の１
上限20,000円
＊100円未満切り捨て

令和８年8月末時点の実績
申請数　18件
交付決定数　14件

「議会だより184号」読者からの声



議会だよりへのご意見ご感想が届きましたのでご紹介します。

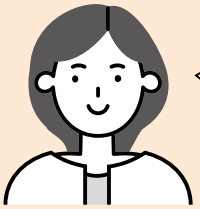
愛着の持てる玉川村を目指して頑張ってほしい

以前は読むのがとても疲れると感じていた「議会だより」でしたが、ここ１～２年で読みやすくなり、今では発行を楽しみにするようになりました。特に、議会で決まったことだけでなく、産業まつりの開催に至るまでの課題や関係者の努力・思いが紹介され、村のことをより身近に感じられる内容になったと感じました。

一般質問のページでは、「質問に込めた想い」や「振り返って」が加わったことで、議員の考えが伝わりやすくなったと思います。また「一般質問のその後は」の記事では、質問後の進展を知ることができ、好感を持ちました。

今後もより住みやすく、愛着の持てる玉川村を目指して記事づくりを頑張ってほしいと思います。

40代 女性



議会からのお知らせ

多くの皆さまの傍聴をお待ちしております

一般質問を休日に開催します

玉川村議会は、令和８年４月１日施行の「玉川村議会基本条例」に基づき、開かれた議会運営に努めています。

このたび、村民の皆さまに議会をより身近に感じていただくとともに、傍聴の機会を広げるため、12月５日（土）午前10時から一般質問を休日に開催します。

普段、平日の傍聴が難しい方にもご参加いただきやすい機会です。

ぜひ傍聴にお越しください。

議会だよりへの
ご意見はこちら

インタビュー
輝く人



國分（こくぶん）　洋平（ようへい）さん
神奈川県横浜市出身

代表を務める一般社団法人サイクルヴィレッジたまかわでは「日本一自転車が好きな村」を掲げ、福島空港内のトレイルやアーバンスポーツたまかわの運営を行っています。

村で始めたきっかけ

きっかけは、福島空港未供用地でのマウンテンバイクトレイルの造成・運営でした。活動を通じて多くの方とつながることができました。移住者の私を温かく受け入れていただいたご縁を地域の価値として返したいと考えています。

自転車を通して目指すこと

自転車事業を愛好者だけでなく、村内外の老若男女が楽しめるものへ育てたいです。観光や健康づくりに加え、福島空港と施設を結ぶ二次交通としての可能性もあります。福島県農青連での副委員長という立場も生かし、自転車と農業、食、観光を結び、村全体に人や仕事が広がる事業を目指します。

活動の中で苦労したこと

ゼロから事業を創る過程には多くの課題がありましたが、地域の皆さんと玉川村のご協力により乗り越えることができました。改めて御礼申し上げます。県や国の管轄、大きな事業費を要する課題については、要請活動を通じて取り組んでいきます。



台湾からの参加者を迎えたインバウンド事業の様子

村に期待すること

福島空港、農村風景、農産物、里山など、玉川村が持つ資源を「自転車×農業×観光」で結び、人や仕事が生まれる地域にしたいです。そのため、民間の新しい挑戦を後押しし、行政・地域・事業者をつなぐ役割を村に期待しています。挑戦する人が動きやすい環境づくりを、今後もお願いしたいです。



毎年にぎわいをみせるBMX大会「さるなしJAM」

あとがき

9月定例会は決算議会です。村のお金がどのように使われ、これからの村づくりにどう生かされるのかをチェックする大切な機会です。

そうした中で、インタビュー「輝く人」の取材を通して、若い世代が施設運営や地域の活動に力を注いでいることを心強く思いました。今後もこうした挑戦を応援し、村民の声を届けてまいります。

副委員長　堀越　美保

発行：福島県石川郡玉川村議会
発行責任者：小針竹千代　議会広報編集特別委員会：大羅　将・堀越美保・円谷兼一・佐久間福男・小針善誠　印刷：(有)和田印刷
住所：石川郡玉川村大字小高字中畷9　TEL0247-57-4630